

News Release

**「FPを対象としたフィンテック(FinTech)に関する意識・利用状況調査」
～ フィンテックにより、ファイナンシャル・プランナー(FP)の業務効率やサービスの
質が向上し、顧客の満足度が高まる 44.1% ～
調査:NPO 法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会**

特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会(略称:日本FP協会 理事長 白根壽晴)は、ファイナンシャル・プランナー(CFP®・AFP 認定者)のうち、FP 会社・事務所、士業事務所等に所属する方を対象に、フィンテック(FinTech)に関する意識や利用状況などについて、インターネットによるアンケート調査(以下、本調査)を実施し、775名の回答結果を集計しました。

近年、スマートフォンによるモバイル決済や、ビッグデータ、人工知能(AI)などの最新技術を使った新たな金融サービス「フィンテック」が、様々な場面で話題になっています。その進展がFPの実務や生活者の金融リテラシー・資産形成活動などに与える影響は大きいものと考え、今般、本調査を実施いたしました。調査結果の概要は次のとおりです。なお、詳細な報告書については、日本FP協会公式サイトをご参照ください。

【調査結果概要】

■FPの実務上で利用されることの多い『ライフプランニングソフト』の認知率は全体で約 80%(79.6%)。なかでも、FP会社・事務所での認知率は約 95%(94.8%)と特に高く、利用率も約 62%(61.8%)と定着している。また、『ロボ・アドバイザー』や『PFM(個人資産管理)サービス』の認知率も、それぞれ全体で約 50%(45.3%・51.6%)前後と、社会全般と比較しても一定以上の認知度を有しているといえる。

■フィンテックがFP業務に与える影響としては『FPの業務効率やサービスの質が向上し、顧客の満足度が高まる』とする回答がほぼ半数(44.1%)で最も高くなっており、フィンテックを積極的に利活用して、包括的なアドバイスの付加価値を高めたいとするFPが多いことがうかがえる。

一方、『現在顧客に提供しているサービスがフィンテックにとって代わられる可能性がある(34.3%)』との回答と、『資産形成意識を持つ顧客層が増え、FPへの相談ニーズが高まる(34.8%)』とする回答とは、ほぼ拮抗しており、フィンテックの進展に対する期待感だけでなく、危機感を持っているFPもいることがわかった。

■FPが実務を行う際のプロセス(FPの6ステップ)のうち、包括的なライフプランニングを行うための出発点として、顧客とFP相互の信頼関係を構築する『顧客との関係確立とその明確化(=顧客との関係構築)』や、多様な選択肢の中から顧客の価値観や家計全体を見据えたうえで実践する『プランの実行援助』など、定性的なプロセスは、今後もフィンテックによる代替が困難であると考えているFPが多い。

一方で、定量的な情報を扱うことが多い『顧客のファイナンス状態の分析と評価』などのプロセスは、フィンテックとの親和性も高いことから、代替も可能となるとの見通しが多くなっている。

‘フィンテックでの代替が困難である’…顧客との関係確立とその明確化:69.8%、プランの実行援助:56.8%

‘フィンテックでの代替が可能である’…顧客のファイナンス状態の分析と評価:77.3%

■約9割(89.0%)のFPが、自身のフィンテックに関する情報量が『不足している』と感じている。また、克服すべき課題として『自身のフィンテックに関する知識・理論の向上(60.9%)』を、次いで『投資・ライフプラン等に関する知識・理論の向上(45.7%)』、『フィンテックの利用による業務効率の向上(44.3%)』などを挙げている。

◆本件に関するお問合せ先

担当	日本FP協会 広報部広報課 金田・田和	TEL	FAX	E-mail
		03-5403-9739	03-5403-9795	info@jafp.or.jp

※ CFP®、AFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイドファイナンシャルプランナー®は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。AFP、AFFILIATED FINANCIAL PLANNERおよびアフィリエイトファイナンシャルプランナーは、NPO法人日本FP協会の登録商標です。

特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 マニュアルプレイス堂島5F TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065

調査概要

- 調査目的:近年、様々な場面で「フィンテック(FinTech)」が話題になっており、その進展がFP実務や生活者の資産形成活動に与える影響は大きいものと考えられる。そこで特定非営利活動法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会の資格認定会員を対象に、フィンテック(FinTech)に関する認識や利用状況などについてアンケート調査を行い、その結果を貴重な資料として今後の協会運営や会員の方への情報提供などに役立てることを目的とする。
- 調査対象:特定非営利活動法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会資格認定会員(CFP®認定者・AFP認定者)のうち、勤務先(業態)が以下の方
FP会社・事務所(経営者)、FP会社・事務所(従業員)、税務・会計事務所、
司法書士・行政書士・法律事務所、社労士事務所、その他士業事務所
- 調査地域:全国
- 調査方法:インターネット調査
- 調査実施期間:平成29年2月10日(金)~2月20日(月)
- 有効回答数:775サンプル
- 調査主体:特定非営利活動法人(NPO法人) 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会
- 調査機関:株式会社 日本能率協会総合研究所

<言葉の定義>

- この調査における「FP業務」とは、個人がライフプラン上の目標を達成することを支援するために、必要に応じて他の専門家の協力を得ながらファイナンシャルプランの立案・見直しや、プラン実行のための資産形成商品等の提案を行うことをいう。
- この調査における「ライフプランニングソフト」とは、個人がライフプラン上の目標を達成することを支援するために、家族構成や収入・支出、資産・負債等の現状をもとに、キャッシュフロー表などを作成するソフトウェアをいう。
- この調査における「ロボ・アドバイザー」とは、人間のアドバイザーを介さずに、自動化されたポートフォリオ管理アドバイス等を提供するオンラインサービス・ソフトウェアをいう。
- この調査における「PFM(個人資産管理)サービス」とは、家計簿ソフトや、銀行・証券・カード等の口座情報を統合し、一元的に管理するオンラインサービスをいう。

この調査においては、FP業務において一般的である「ライフプランニングソフト」に「ロボ・アドバイザー」、
「PFM(個人資産管理)サービス」を加えて『フィンテック(FinTech)』という。

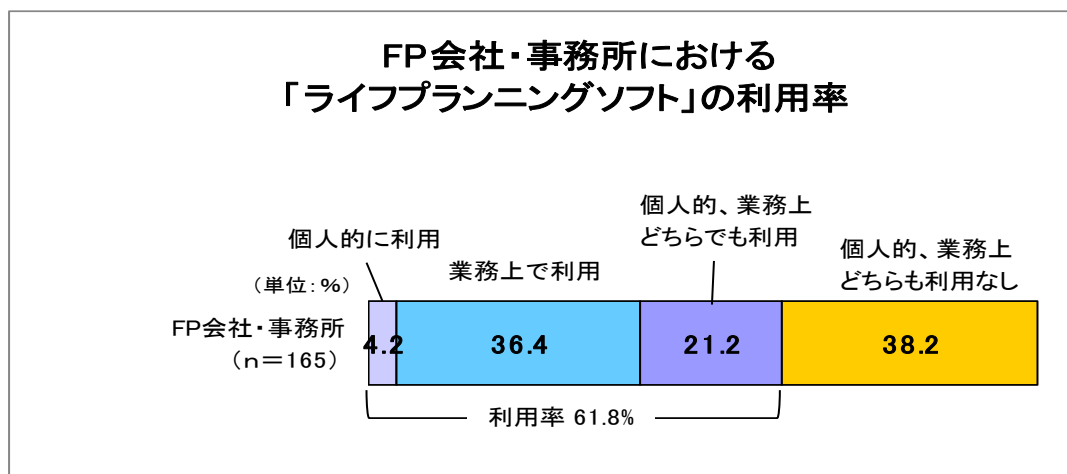
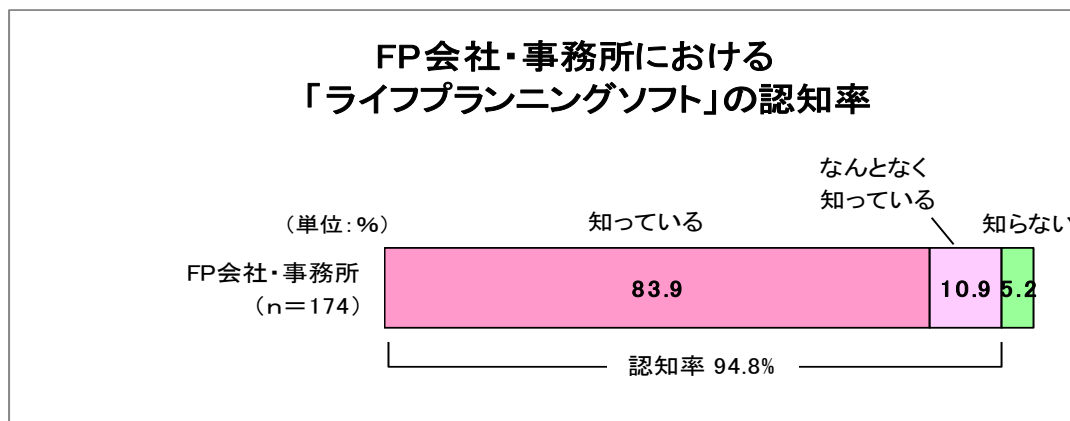
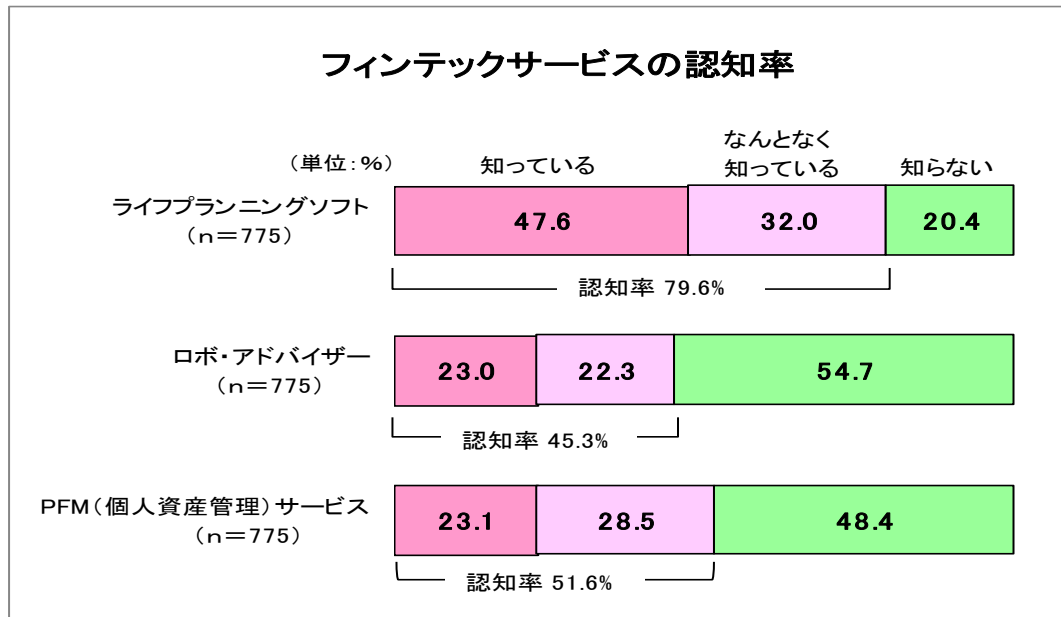
※注:FPの6ステップとは

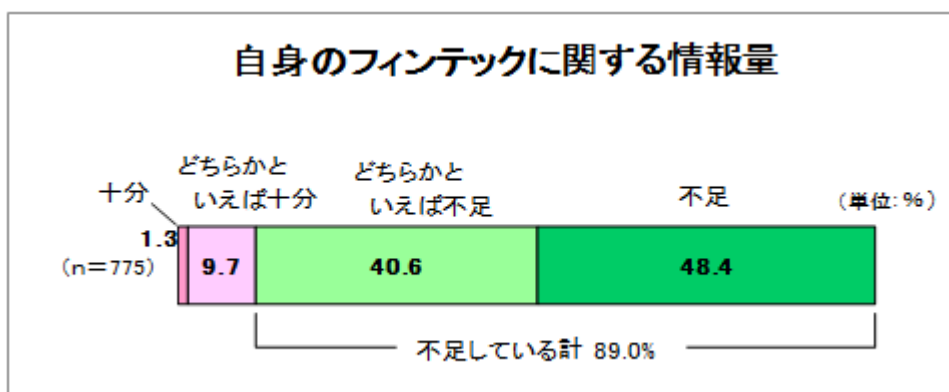
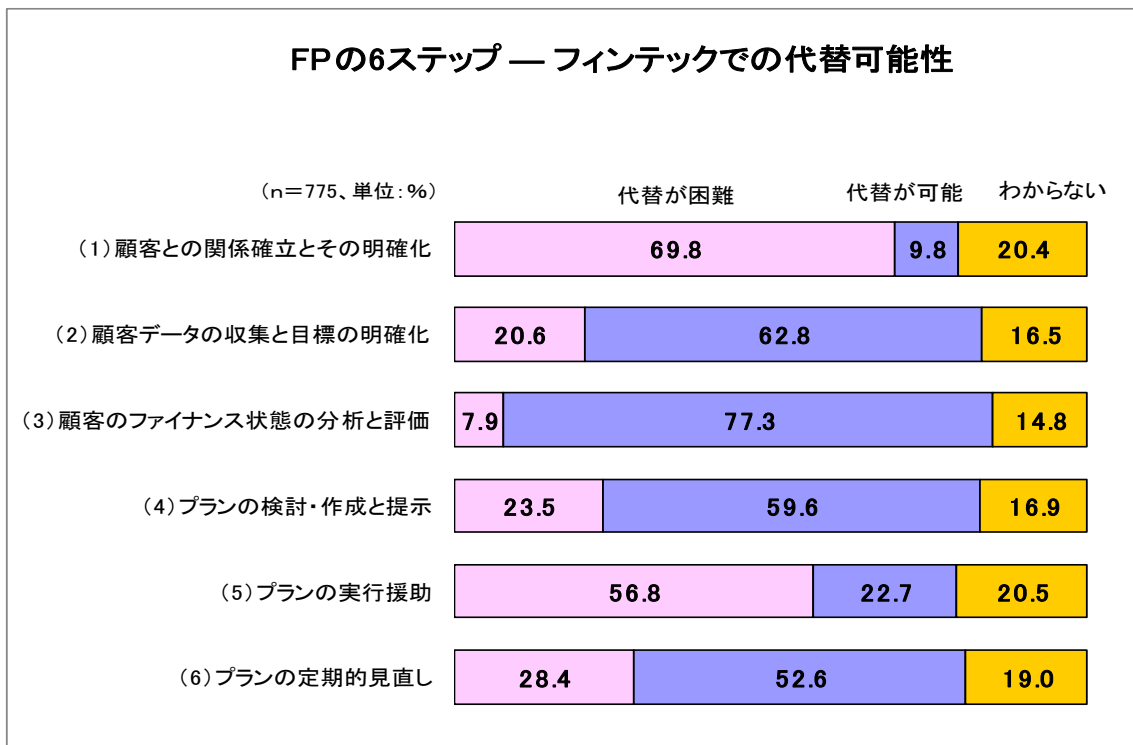
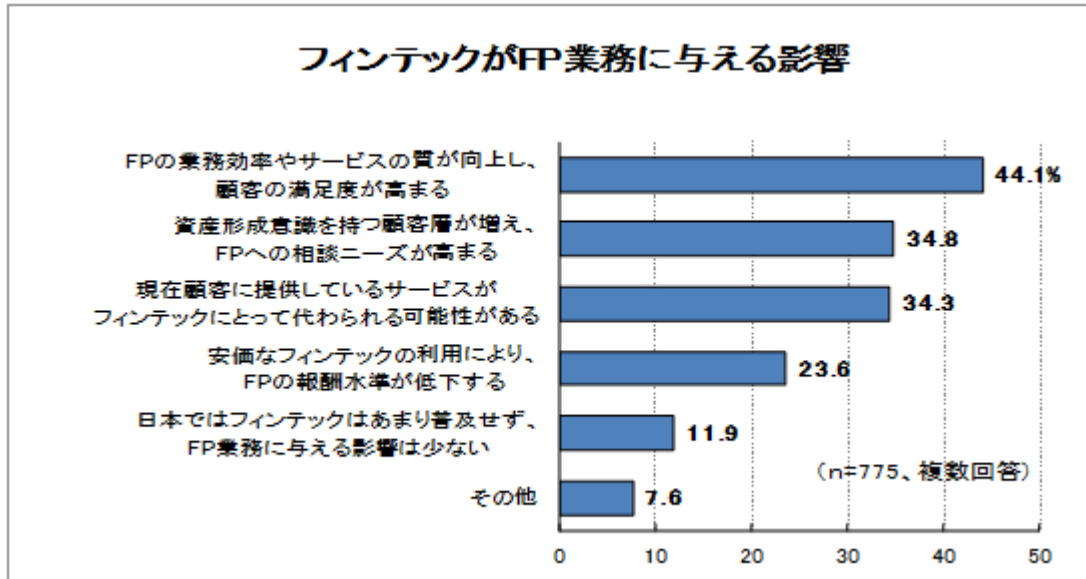
ファイナンシャル・プランニング・プロセスの実務指針。

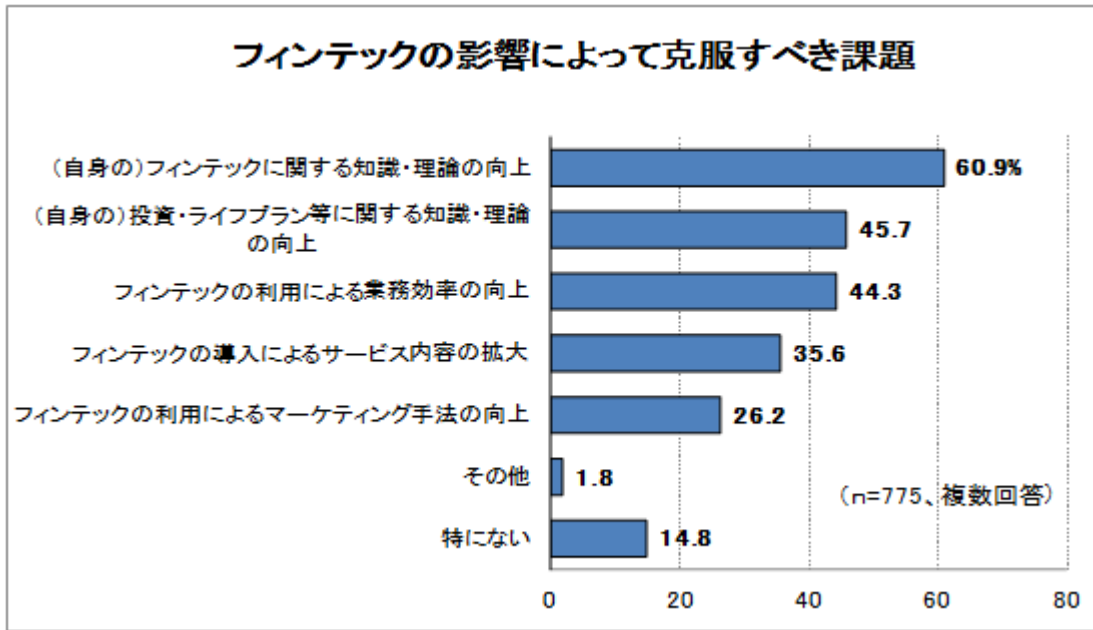
顧客とFPとの関係確立から始まり、プランの提示、そして実行の援助、プランの見直しまで定められた、顧客に最適なアドバイスを行うための6つのプロセスのこと。

- ①顧客との関係確立とその明確化
顧客との適切な関係を作り、信頼感を醸成する
- ②顧客データの収集と目標の明確化
顧客の各種データを収集するとともに、ニーズ・ゴール・価値観・リスク許容度等を明確化する
- ③顧客のファイナンス状態の分析と評価
キャッシュフロー・バランスシート等をもとに分析を行う
- ④プランの検討・作成と提示
顧客の目的・ニーズ・優先事項等に適合するプランを検討する
- ⑤プランの実行援助
あらかじめFPと顧客の間で合意したプランの実行援助を行う
- ⑥プランの定期的見直し
顧客の環境、経済情勢、法制度等の変化を踏まえ、適時、見直しを行う

調査結果







法人概要

協会名： 特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

創立： 1987年11月19日

※2001年7月2日に特定非営利活動法人(NPO 法人)として、スタート

理事長： 白根 壽晴

所在地： <本部事務所> 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 5F

<大阪事務所> 大阪府大阪市北区堂島浜 1-4-19 マニュライフプレイス堂島 5F

事業目的： 広く一般市民に向けてファイナンシャル・プランニングの啓発と普及を図る。

ファイナンシャル・プランニングの担い手(専門家)であるファイナンシャル・プランナーを養成・認証する。

- 事業内容：
- ・ファイナンシャル・プランニングに関する知識の啓発と普及
 - ・ファイナンシャル・プランニングに関する調査、研究及び情報の提供
 - ・ファイナンシャル・プランニングに関する書籍の発行
 - ・国内外のファイナンシャル・プランニング関係機関との交流
 - ・ファイナンシャル・プランナーの教育と資格認定試験の実施

URL： <http://www.jafp.or.jp/>